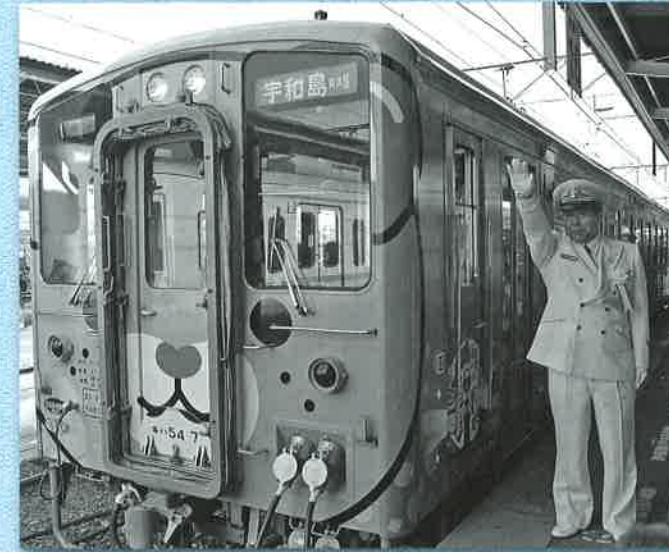


# しおかぜ

# 4

No. 346. 2016. APRIL



## 特集

平成28年度 事業計画／平成28年度 JR四国グループ事業計画  
平成28年度 安全推進計画／平成28年度 サービス推進計画

## 営業ニュース

土讃線新観光列車の名前とデザインが決まりました!



しあわせぐるり、  
しこぐるり。  
2017 SHIKOKU  
Destination Campaign





# 「四国家」の一員として

代表取締役専務 鉄道事業本部長 半井 真司



3月26日に北海道新幹線 新青森～新函館北斗間が開通し、北海道から九州まで新幹線につながりました。私は四国の住民として、このニュースを羨ましく、悔しい思いで見っていました。東海道新幹線が開通して既に50年余りが経過し、四国を除く主要な地域にネットワークが整備された今、新幹線はもはや特別なものではなく、社会インフラの一つとして普通のものとなっています。そして、近年の九州や北陸の例からも分かるように、新幹線の地域に及ぼす効果は大きなものがあります。逆に言えば、それが無い地域のデメリットやハンデを考えなければなりません。地域間競争が激しい中で、空港がある、本四3橋がある、高速道路があると、今に満足しては、相対的な優位性は下がり、新幹線のある地域との格差が拡大して、四国は衰退していくばかりではないかと思えます。こうしたことから、最近地元で四国新幹線の整備に向けた気運が高まってきていることを四国の住民の一人として大変嬉しく思っています。

しかしながら、四国新幹線の開通はどんなに順調にいても、数十年先になります。それまでの間、私たちJR四国社員に求められるのは、新幹線を運行するに足り得る会社であり続けることです。そのためには、まず社員一人一人が「お客様に、安心して、喜んで、末永くご利用いただける」会社を目指して、与えられた役割を全うしていかなければなりません。そして、人口の減少が続くなか、地域と連携、協力しながら、工夫を凝らして交流人口の拡大に努めることが必

要です。こうした取り組みにより、地元で経済効果や活力を生み出すことで、四国における鉄道の存在意義を示すことができ、サポーターも生まれることと考えます。地元の方々と共に創り上げてきた「伊予灘ものがたり」やスロー列車が、その成功事例だと思います。

今年度は、「四国とともに歩む企業グループへ」と「自立経営に向けた基盤強化」を目標とした中期経営計画の最終年度になります。過去4年間の鉄道運輸収入は、景気の底上げや観光列車ブーム、更にはインバウンドの急増などの追い風にも恵まれ、上振れ傾向で推移しています。今年は「瀬戸内国際芸術祭2016」を始め、「えひめいよしの南予博2016」、「2016奥四万十博」など地域イベントが開催されますし、来春の本番に向けたPRDCも予定しており、地域と一緒にあって四国の良さを全国にPRする絶好のチャンス的一年です。このため、まず安全を第一として、安全・安定輸送に全力を尽くすと共に、感動していただける接客サービスに心がけ、誘客施策を積極的に展開することにより、地域の方に共感していただける成功事例を積み重ねていくことが大切です。

私たちは、個人も、会社も四国で生計を立てる「四国家（しこくけ）」の一員です。体力や能力には限界があるものの、その果たすべき役割をしっかりと見極め、一家の発展に尽力しなければなりません。「四国家」の一員として、「四国家」が健全で、賑やかな家庭になるよう社員一丸となって取り組んでいこうではありませんか。

## しおかぜ

No.346  
2016  
APRIL



● 表紙写真 ●

- 左上: 「おさんぼなんよ」出発式 (広報室)
- 右上: 台湾鐵路管理局との友好鉄道協定並びに両松山駅間の友好駅協定調印式 (広報室)
- 左下: 「サービスマイスター2015」に認定 (広報室)
- 右下: 予讃線8000系アンパンマン列車報道公開 (広報室)

02 ほっとらいん

03 営業ニュース  
営業概況

04 特集  
平成28年度 事業計画

06 平成28年度 JR四国  
グループ事業計画

07 平成28年度 安全推進  
計画

08 平成28年度 サービス  
推進計画

09 コンプライアンス☆ナビ  
勤務福利  
人権啓発室

10 TOPICS

11 TOPICS  
月間日誌

12 通信員だより

13 広報通信員の紹介  
通信員だより

14 出向者だより  
本社だより

15 Monthly Focus  
わたし・我が家の宝物  
しおかぜQUIZ

16 今月の笑顔  
健康アラカルト  
編集部雑感



ご家庭で家族のみなさんと  
ご一緒にご覧下さい。

# 新ニュー 土讃線新観光列車の名前とデザインが決まりました!

平成29年春から土讃線 多度津・琴平駅～大歩危駅間で運行される  
新たな観光列車の列車名、車両デザイン等が決定しました。

## ●列車名 / 「四国まんなか千年ものがたり」

### ●列車愛称

上り、下り列車毎に、それぞれの目的地をイメージした愛称がつけます。

【下り列車 (多度津駅・琴平→大歩危駅)】「**そのの郷紀行**」

【上り列車 (大歩危駅→琴平・多度津駅)】「**しあわせの郷紀行**」

### ●車両デザイン

#### ◆外観デザイン

春夏秋冬、1年の四季の移ろいを各車両毎の色どりで表現しました。

#### ◆インテリアイメージ

重ねた時の深遠を映す褐色木材の凛とした室内空間

※デザインコンセプト等についての詳しい説明は、ニュースリリース (平成28年2月29日) をご覧ください。



インテリア(イメージ)

### ●その他

◆運行開始日 / 平成29年4月1日 (土)

◆運行区間 / 多度津・琴平駅～大歩危駅間 (列車の運行は多度津駅～大歩危駅間、主なサービスは琴平駅～大歩危駅間)

◆運行日 / 土・日・祝日に1日1往復予定 (年間120日程度)



SHIKOKU MANNAKI  
SENNEN MONOGATARI

そのの郷紀行 多度津・琴平→大歩危



1号車 表面「あまのり」の車 2号車 表面「なつがし」の車 3号車 表面「はるあかり」の車

「そのの郷紀行」イメージ



SHIKOKU MANNAKI  
SENNEN MONOGATARI

しあわせの郷紀行 大歩危→琴平・多度津



1号車 表面「はるあかり」の車 2号車 表面「なつがし」の車 3号車 表面「あまのり」の車

「しあわせの郷紀行」イメージ

## 営業概況 ● 2016年2月分

### 鉄道事業

乗車券発売枚数は、1,048千枚で、前年比103.8%、普通収入が前年比104.3%、定期収入が前年比102.7%となり、全体では104.2%でした。

なお、普通収入の内訳は、自社完結が前年比103.2%、他社関連が前年比104.7%でした。

### 旅行業事業

国内販売は前年比97.6%、海外販売が前年比60.2%となり、全体では95.0%でした。

### 関連事業

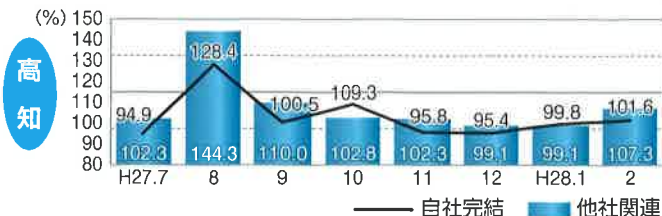
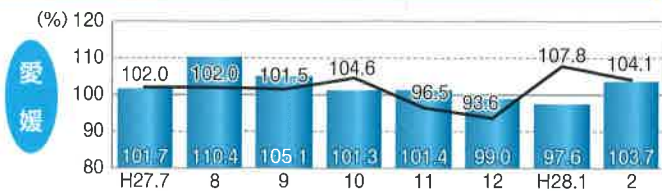
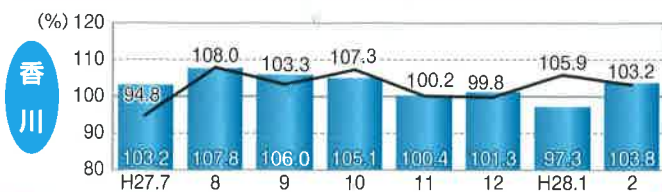
関連事業収入は前年比105.2%、鉄道付帯収入が前年比100.3%となり、全体で104.1%でした。

単位:百万円、%

	2月分	前年比	累計	前年比
鉄道事業	2,680	104.2	34,771	104.4
旅行業事業	217	95.0	2,902	100.4
関連事業	148	104.1	2,235	101.5

※鉄道事業は、高速バス・イベント券等及び島外店舗を除いた実績で計上。

## 普通収入前年比推移(具別)



— 自社完結 ■ 他社関連



### 1 事業運営の基本方針

～平成27年度の取組み、  
平成28年度の基本方針～

#### 【平成27年度】

- 国内LCCなど対抗輸送機関との競合による影響等はあったものの、景気は緩やかな回復基調にあったことなどから、鉄道運輸収入は堅調に推移
- 経費面では、安全性のさらなる向上のため修繕費が増加したが、原油価格の下落により動力費が減少  
⇒4期連続の経常黒字となる見込み

#### 【平成28年度】

- 海外経済の動向等により、景気の先行きは不透明
- 「中期経営計画」(2012-2016)の最終年度として、計画目標である着実な経営の基礎固め、基盤強化の実現を確実に達成  
⇒支援措置等を活用した設備投資、修繕を着実に実施し、さらなる収入の確保、経費の削減及び安全性の向上に取り組む

#### 「安全の確保」が事業運営の根幹であり、最重要課題

- お客さまに「安心して」「喜んで」「未永く」ご利用いただく
  - ◆安全・安定輸送の確保  
⇒安全管理体制を有効に機能させ、輸送品質を向上
  - ◆鉄道運輸収入の確保  
⇒瀬戸内国際芸術祭2016等のイベントに合わせた商品の設定、観光列車のブラッシュアップ  
⇒鉄道の強みを生かした競争力のある商品展開、新型特急電車の追加投入などによる対抗輸送機関対策の推進  
⇒地域との連携事業の推進、インバウンド事業の積極的展開、平成29年春の四国DC開催に向けた魅力の発信や土讃線の新観光列車の開発
- 支援措置等の活用  
⇒軌道強化、光ケーブル化等の実施による修繕費等の削減  
⇒特急車両の新製による利便性・快適性の向上  
⇒老朽車両の寿命延伸など安全・安定輸送の基礎となる設備の老朽取替  
⇒車両部品等の取替などによる安全・安定輸送の確保
- 輸送需要に応じた列車体系の適正化と輸送体系の抜本的な見直しに向けた検討
- 四国の鉄道の抜本的高速化に向けた高速鉄道整備の意義等の周知
- グループ全体の収益拡大  
⇒社有地の有効活用  
⇒高松駅開発において、周辺エリア全体の活性化につながる、魅力あふれる施設の実現に向けた検討の深化  
⇒マンション事業への参入など幅広い観点からの事業領域の拡大

グループ一体となって、平成32年度を目標とする「自立経営の確立」の達成に向けた次のステージへの飛躍を目指し、各種課題の解決を図っていく

#### (1) 経営基盤の確立

##### ① 輸送の安全・信頼の確保

「安全の確保」は、鉄道事業者が絶対を守るべき使命であるとともに事業運営の根幹であり、全てに優先する最重要課題とする  
⇒「現場力の向上」「現場主義の確立」「グループ一体となった安全文化の確立」を重点項目として輸送品質の向上を図る

#### <中期安全推進計画>(平成24年度～平成28年度)

##### 【主目標】

- 「お客さまの死傷事故ゼロ」
- 「社員等(グループ会社含む)の死亡事故ゼロ」

##### 【発生件数削減目標】

- 「社員等の取扱い誤りの削減」
- 「部内原因による輸送障害の削減」
- 「社員等の労働災害削減」
- 「踏切障害事故の削減」

⇒計画に基づいた重点実施項目に引き続き取り組む

- ◆安全管理体制のチェック機能としての安全マネジメント監査について、より体系的な枠組みの構築とさらなる定着化
- ◆誤出発防止用ATSの設置や踏切の無しや断対策など、設備面での継続した安全対策の推進

#### ア 安全運行体制の強化

- ◆安全に対する基本行動理念(安全文化6つの基本)
- ◆「安全推進運動」の深度化
- ◆社員の安全意識高揚と異常時における対応能力向上等
- ◆グループ一体となった各種訓練の実施、安全衛生活動の強化

#### イ 輸送施設の安全性等の確保

- ◆車両、線路及び電気設備の安全性の確保(安全・安定輸送の基礎)  
⇒誤出発防止用ATSの設置や信号機の視認性向上など列車運行の安全性向上に向けた取組み
- ◆踏切等における事故防止や安全性確保に向けた取組み
- ◆松山駅付近における連続立体交差化工事の推進

#### ② 支援措置等の活用

支援措置等により、さらなる収入の確保、経費の削減及び安全性の向上に努め、自立経営の確立に取り組む

#### ア 特別債券の利息収入による「財務基盤の安定化」

#### イ 助成金・無利子貸付による設備投資

#### ウ 無利子貸付による修繕

#### ③ 鉄道運輸収入の確保

#### ア 輸送需要の確保

- ◆平成28年3月のダイヤ改正の効果を十分に発揮させるため、きめ細やかな営業施策を展開
- ◆鉄道の利用促進施策の検討

#### イ 営業施策の展開

- 観光列車等の営業ツールを最大限活用し、「わざわざ」乗りに来ていただける鉄道を目指す
- 斬新かつ迅速な営業展開により、収入目標の達成とさらなる上積みチャレンジ

- ◆瀬戸内国際芸術祭2016等のイベントに合わせた商品の設定や「海洋堂ホビートレイン」のリニューアルなど観光列車のブラッシュアップによる観光誘発や鉄道の魅力向上

- ◆鉄道の強みを生かした競争力のある商品展開やテレビCM等による企画商品の積極的な宣伝展開、新型特急電車の追加投入などによる対抗輸送機関対策の推進

- ◆会員制度のブラッシュアップなどターゲットを絞った潜在需要の掘り起こし

- ◆特急列車用定期券「快て一き」の効果的な宣伝による利用拡大

- ◆「JR四国ツアー」のリニューアルなど無店舗販売の強化

- ◆アンパンマン列車事業において、予讃線8000系アンパンマン列車やソーシャルメディアを活用したプロモーション活動の強化

- ◆四国ツーリズム創造機構等と連携した海外宣伝活動の展開

- ◆東南アジア方面への新規需要の開拓などによる「ALL SHIKOKU Rail Pass」の販路拡大

- ◆平成29年春の四国DC開催に向けた取組み

- ⇒地元等と一体となった四国の魅力の発信

- ⇒土讃線多度津・琴平～大步危間での「山」「川」をテーマとした新しい観光列車の開発

- ⇒観光素材整備等の推進

#### ④ CS(お客さま満足)の向上

#### ア 輸送サービスの向上

- ◆鉄道のご利用に関する情報や、お客さまのご要望などへの適時適切な対応

- ◆より質の高い輸送サービスを提供するための取組みの強化

#### イ 接客サービスの向上

- ◆お客さまの「心」を意識したその職場ならではのサービスの提供

#### ⑤ 業務運営の効率化と経費の削減

- ◆グループ会社を含めた適正な要員規模の検討

- ◆より効率的な業務執行体制の確立及び人件費の抑制等による経費の削減

- ◆将来の輸送体系を見据えた保有設備の適正化

⑥ 人材の確保・育成

- ◆技術・ノウハウの確かな継承を目的とした社員等の業務遂行能力向上と意識・意欲の高揚
- ◆人材の安定的確保
- ◆エキスパート社員のさらなる定着化
- ◆女性の活躍推進
- ◆社員等が能力を最大限に発揮できる職場環境作り

⑦ 技術開発等の取組み

- ◆安全性向上や経費削減に向けた取組み

⑧ 経営安定基金運用益の確保

- 金利の大幅な低下、将来的な金融資産の時価変動リスクの高まり
- 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構への貸付金の償還終了

- ◆基金運用益の計画額確保  
⇒全額自主運用において目標とする資産構成割合に基づく適切なリスク管理

⑨ グループの企業価値向上

- ◆自立経営の実現が可能な経営体質の構築
- ◆果たすべきミッション（使命、役割）に基づいた収益基盤となる事業領域の拡大や業務運営の効率化、中期的な利益目標の設定と管理、コスト削減による収益性の向上
- ◆安全・安心、信頼確保に向けたコンプライアンスの徹底、サービスレベル及び技術水準の向上

(2) 時代環境に即応した企業体質の構築

① 信頼される企業グループを目指した取組み

- ア 環境保全への取組み
  - ◆企業活動に伴う環境負荷の低減に向けた環境保全活動の深度化、新型車両の導入
  - ◆JR四国グループの環境保全に対する取組みや情報の積極的な開示
- イ コンプライアンス等への取組み
  - ◆コンプライアンスに対する社員等の意識醸成と高い企業倫理の構築
  - ◆「JR四国グループコンプライアンス指針」の周知・徹底
  - ◆内部監査部門における実効性の高い監査への取組み

② 地域社会との連携

- ア 観光振興等に係る連携
  - ◆観光列車等の運行による地域おこしや大型イベントを契機とした連携企画
  - ◆鉄道沿線地域の特色を生かした新たな交流の創出に向けた取組み
  - ◆コンサルティング部門における、まちづくりや地元素材を生かした地域活性化事業等の企画提案、地域活性化及び観光振興への取組み
- イ 駅周辺のまちづくりに係る地方自治体との連携
  - ◆松山駅付近連続立体交差化工事の推進、徳島駅付近連続立体交差化計画の協議継続、地方自治体と連携した駅前広場や駅舎等の駅周辺整備の検討
- ウ 情報発信
  - ◆地域社会や関係団体と連携した観光振興施策を含む多彩な情報の発信
  - ◆より開かれた事業運営を目指した適宜・適切な情報開示
  - ◆リニューアルしたホームページにおいて、アクセス状況を踏まえた効果的なコンテンツの配置による鉄道利用促進と利便性の向上

(3) 鉄道ネットワークの維持及び鉄道の抜本的高速化

「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会」で取りまとめられた「四国の鉄道活性化への提言」（H23.7）を踏まえた取組み

① 鉄道ネットワークの維持

- ◆輸送需要に応じた列車体系の適正化及び輸送体系の抜本的な見直しに向けた検討
- ◆四国における鉄道ネットワークの維持が困難となるのが想定されるなか、中長期的な視点での鉄道ネットワークの維持方針について、具体的な検討を継続

② 都市間輸送の抜本的高速化

- ◆交流人口の拡大・四国経済の発展を目指し、地域とともに、基礎調査の結果を踏まえた鉄道の抜本的高速化の実現に向けた検討を深度化
- ◆高速鉄道の必要性について、地域社会からより一層の理解を得るため、高速鉄道整備の意義等の周知

2 鉄道輸送に関する計画

◆平成28年度の輸送量の見通し及び列車の運行計画

輸送量の見通し		列車の運行計画	
輸送人員	輸送人キロ	列車キロ	車両キロ
46百万人	1,439百万人*。	20百万*。	58百万*。

3 鉄道施設の整備に関する計画

鉄道輸送の根幹である「安全・安定輸送の確保」に必要な設備の老朽取替等の安全関連投資に重点を置いて進めるほか、収益強化、経費削減及び業務の効率化に必要な投資を実施する。また、支援措置等を活用した軌道強化及び新型特急気動車の新製等を実施する。

【設備投資総額 105億円（57億円）【19億円】】

輸送設備の維持更新 64億円 (29億円) [16億円]	老朽設備取替<各種機械、光ケーブル化など> 保安・防災対策 <耐震補強、誤出発防止用ATSの設置など> 安定輸送対策<軌道強化>
経営の体質改善 5億円 (0億円)	業務運営方式の改善<各種システムの改修>
車両 33億円 (27億円) [3億円]	土讃線新観光列車運行に向けた車両改造、 新型特急気動車4両の新製、車両の経年部品・エンジン等の取替
総係費 3億円	

※( )は経営安定化のための支援措置対象、[ ]は追加的支援措置対象

4 その他事業の運営に関する計画

(1) 関連事業

① 資産の有効活用及び既存事業の見直し

- ◆活用可能な遊休資産や低効率資産等の有効活用及び売却についての多角的な検討
- ◆駅構内店舗や駅ビル等について、店舗のリニューアル等を推進
- ◆高松駅開発では周辺エリア全体の活性化につながる、魅力あふれる施設の実現に向けた検討の深度化
- ◆駐車場事業について、収益の向上につながる料金体系等への改良、グループ会社のあり方も含めたあるべき管理方式、運営主体の具体化
- ◆通信販売事業について、商品・商材の発掘、拡充、販売ルートへの拡大及び経費構造の見直しによるさらなる収支改善
- ◆グループ全体での収益拡大の観点から、多角的なバックアップを実施

② 事業領域の拡大

- ◆マンション事業への参入
- ◆宿泊特化型ホテル事業や高齢者事業等、鉄道事業との相乗効果や将来的に事業展開が見込める分野における事業領域拡大の検討
- ◆専門家の指導や助言、部外能力等の活用
- ◆業務提携等による将来に向けた事業ノウハウの取得

(2) グループ会社

- ◆自主自立経営が可能な経営体質の構築を図るべく、事業再編、既存事業の競争力強化、事業領域の拡大や業務提携などによる収益の拡大

5 平成28年度収支計画

	27年度計画	28年度計画	増減
営業収益	276	282	6
鉄道運輸収入	226	232	6
その他収入	50	50	0
営業費	385	408	23
人件費	161	157	△4
物件費	158	180	22
その他	66	71	5
営業損益	△109	△126	△17
営業外損益	111	94	△17
経常損益	2	△32	△34



## 平成28年度 JR四国グループ事業計画

### 1 グループ運営の基本方針

JR四国グループにおいては、安全・安心の確保を第一に、グループ一体となって「収入の確保」と「効率的な事業運営の追求」により、グループの企業価値向上に取り組めます。グループ会社においては、各社が自立経営実現のために主体性を持って経営課題の解決、既存事業の基盤強化及び事業領域の拡大に努め、中期的な利益目標の設定及び管理により、収益力の強化に重点的に取り組むこととします。

#### (1) 安全・安心と信頼の確保

鉄道を中心にお客さまに喜んでご利用していただける安全で安心な商品やサービスの提供に努めるとともに、地域社会からより一層の信頼が得られるよう、グループ一体となった安全文化の確立に努めることにより事故防止に取り組み、コンプライアンスの徹底・強化に努めます。

#### (2) CS(お客さま満足)の向上

サービスアップ5カ年計画に基づく「笑顔の挨拶」、「おもてなしの心のこもったサービスの提供」、「お客さま満足の追求」を取り組みの基本方針として定着化を図ります。さらに、サービスレベルと商品の品質向上を図り、お客さまからより安心して選択され、未永くご利用していただくための諸施策に取り組めます。

#### (3) 経営基盤の強化による自立経営の実現

グループ各社は、それぞれの果たすべきミッションに基づき、自社の中核事業、既存事業のより一層の収益基盤の強化を図るとともに、新規事業分野への拡大に取り組めます。また、競争力に欠ける事業は事業改廃も視野に機動的かつ柔軟に対応するなど、経営基盤の強化に努めます。

#### (4) 既存事業の収益性向上と事業領域の拡大

グループ各社は、徹底した業務運営効率化とコスト削減に取り組み、既存事業の収益性向上に努めます。また、積極的な部外能力活用や情報収集に努め、業務執行体制の整備、事業領域の拡大を目指します。

#### (5) 働きがいの持てる企業(職場)づくりの推進

グループ各社とも人材の確保と育成に努めるとともに、すべての従業員が満足して働くことができ、さらに個々の能力を十分に発揮できる働きがいの持てる職場づくりを推進します。

#### (6) 地域社会との連携(地域振興と環境保全)

四国に根ざした企業グループとして、地域社会と連携した各種活動の展開や鉄道沿線の観光振興を通じ地域の活性化に寄与します。また、環境問題への対応を企業の社会的責任と捉え、グループを挙げて環境保全に配慮した事業運営に取り組めます。

### 2 分類別基本方針

グループ会社の役割分類別基本方針は以下のとおりです。

#### (1) 鉄道事業の業務運営に密接な関連のある会社

- ① 安全・安定輸送の確保
- ② 確実な技術継承と人材の育成による技術力の向上
- ③ 業務運営の効率化とコスト削減によるグループ経営効率化への貢献

四国開発建設(株)、四国電設工業(株)、四国鉄道機械(株)、本四塗装工業(株)、四鉄サービス(株)、(株)ジェイアール四国メンテナンス、JR四国情報システム(株)、四鉄運輸(株)

#### (2) 鉄道のお客さまへのサービスの提供を中心に展開する会社

- ① 安全・安心な商品やサービスの提供
- ② 駅の賑わい創出やお客さまへの満足・感動の提供
- ③ 既存事業の維持・拡大と競争力強化による利益の拡大

四国キヨスク(株)、(株)ステーションクリエイト東四国、(株)ステーションクリエイト愛媛、(株)ウィリーウィンキー、(株)ジェイアール四国企画、(株)ステーションクリエイト高知、(株)駅レンタカー四国、JR徳島駅ビル開発(株)

#### (3) 鉄道とともに交流人口拡大を目指す会社

- ① 安全・安心な商品やサービスの提供
- ② リニューアルの推進等による競争力強化と収益拡大
- ③ お客さま・地域・社会から信頼される企業イメージの醸成
- ④ 鉄道とともに四国における交流人口を拡大

ジェイアール四国バス(株)、(株)ジェイアール四国ホテル開発

#### (4) 市中展開が可能な事業を営む会社

- ① 迅速かつ積極的な営業展開による収益拡大
- ② 四国の情報発信やグループ企業イメージの向上

よんてつ不動産(株)、(株)めりけんや、(株)ジェイアール四国コミュニケーションウェア

### 3 平成28年度JR四国グループ収支計画

(単位：億円)

	売上高	経常利益
グループ会社計	362	12
J R 四 国	282	△32
合 計(連結)	493	△20

※グループ内取引を消去するため単純合計とは一致しません。

## 平成28年度 安全推進計画

鉄道事業者にとって、安全の確保は事業運営の根幹であると同時に輸送業務の最大の使命であり、すべてに優先する最重要課題です。このことを全社員が常に認識し、日々の業務を遂行しなければなりません。

平成28年度は、5年を期限とする中期安全推進計画（平成24年度～平成28年度）の最終年度として、27年度の実績の深度化を図るとともに、27年度に発生した事故や故障等の原因分析に基づく対策を徹底し、以下に示す「重点実施項目」を着実に実施することにより、目標の達成に向けて邁進することとします。

### I 目 標

#### 1 主 目 標

- (1) お客さまの死傷事故ゼロ
- (2) 社員等（グループ会社含む）の死亡事故ゼロ

#### 2 発生件数削減目標

- (1) 社員の取扱い誤り（ヒューマンエラー事故）の削減  
..... 14件以下（仮）
- (2) 部内原因による輸送障害（ヒューマンエラー事故を除く）の削減  
※車両・設備等事故（ヒューマンエラー事故を除く）  
..... 29件以下
- (3) 社員等（グループ会社含む）の労働災害削減  
..... 9件以下
- (4) 踏切障害事故の削減..... 3件以下（仮）

### II 重点実施項目

#### 1 安全文化の確立

##### (1) 「安全文化6つの基本」の定着化

- ① 報告すること（報告することが事故防止のスタート）
- ② 気づくこと（事故を芽のうちに摘むには問題点に気づくことが大切）
- ③ 自分の問題として捉えること（自分の立場に置き換えて実感することが大切）
- ④ 議論すること（問題の本質に近づくために十分な議論が必要）
- ⑤ 柔軟に対応すること（緊急時等に最善の道を進むために柔軟な対応が必要）
- ⑥ 学習し続けること（事故防止のためには継続的な学習が必要）

##### (2) 「安全推進運動」のレベルアップ

- ① ヒヤリハット運動の更なる深度化
  - ア 各主管と連携した、高リスクヒヤリハット事象のフォローアップ
  - イ ヒヤリハット事象の分析とコラボノート等による水平展開
  - ウ ヒヤリハット報告の質的レベルアップ
- ② リスクアセスメントの推進
  - ア ヒヤリハット運動との連動を考慮したリスクアセスメント様式の統一化
  - イ リスク対策（ヒヤリハット対策を含む）の進捗管理の導入
  - ウ 実施状況の把握及びフォロー活動の展開

### 骨 子（主要な重点実施項目）

#### 1 安全文化の確立

- (1) 安全推進運動のレベルアップ
- (2) 安全教育の定期的な実施

#### 2 安全マネジメント体制の確立

- (1) コミュニケーション能力の質的向上
- (2) 検査実施状況の点検結果に基づく改善の実施

#### 3 運転事故防止の推進

- (1) 安全意識の向上と基本動作の徹底
- (2) 南海トラフ地震等に備えた地震及び津波対策の推進

#### 4 労働災害撲滅活動の推進

- (1) 安全衛生セミナー及びリスクアセスメントの実施
- (2) 触車事故防止に向けた効果的な待避不良対策の検討と試行

##### (3) 安全文化定着化に向けた教育の推進

- ① 全社員を対象とした安全意識高揚のための安全教育を定期的な実施
- ② 安全意識高揚のための教育施設開設に向けた研修施設及び研修内容の検討

#### 2 安全マネジメント体制の確立

- (1) 安全管理体制の継続的な改善
- (2) 安全に関する現場力の向上及び継承
- (3) 現場主義のさらなる徹底によるコミュニケーション能力の質的向上
- (4) 規程・マニュアル等の見直し推進と検査実施状況の点検強化
- (5) 内部監査の強化
- (6) グループ一体となった安全管理体制の確立

#### 3 運転事故防止の推進

- (1) ヒューマンエラー事故の防止
- (2) インシデントの撲滅
- (3) 工事に伴う事故防止
- (4) 車両・設備故障の防止
- (5) 踏切障害事故等の防止
- (6) 災害等による輸送障害防止と危機管理体制の強化
- (7) その他運転事故防止の取組み強化

#### 4 労働災害撲滅活動の推進

- (1) 労働安全推進体制の充実
- (2) 4大労働災害の撲滅に向けた取組強化

「発生件数削減目標の件数」及び「重点実施項目の詳細」については、『平成28年度安全推進計画について（通達）』をご覧ください。



# 特集

## 平成28年度 サービス推進計画

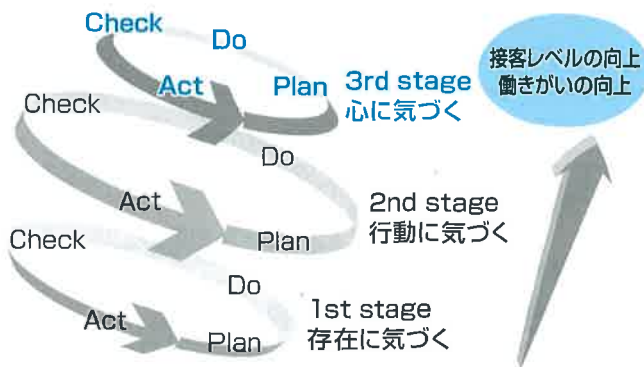
『サービスアップ5ヵ年計画』のサードステージを迎える平成28年度は、『お客様の「心」に気づく臨機応変サービス』が提供できるよう更なるレベルアップに努め、四国DCを万全な形で迎えることとします。また、障害のあるお客様にも安心してご利用いただける鉄道を目指すとともに、輸送障害発生時の迅速な情報提供や旅客誘導に努め、お客様満足度の向上を目指します。

### 1 基本方針

- サービスアップ5ヵ年計画（5年目）の着実な推進 ～お客様目線のさらなる徹底～
- 輸送障害発生時等の対応能力の強化 ～現場力の向上～
- CS向上のためのデザイン展開 ～創意工夫による四国らしさへの挑戦～

### 2 サービスアップ5ヵ年計画（5年目）の着実な推進

5年目の目標である『お客様の「心」に気づく・臨機応変サービスレベルへの到達』を目指します。



- 3rd stage …… お客様の「心」に気づこう！  
(28年度) ⇒ 臨機応変サービスレベルへの到達  
(自律的判断が必要で、真の実力が要求される)
- 2nd stage …… お客様の「行動」に気づこう！  
(27年度) ⇒ 付帯サービスレベルへの到達  
(特徴が出せて差がつく)
- 1st stage …… お客様の「存在」に気づこう！  
(24～26年度) ⇒ コアサービスの完全達成  
(接遇の基礎固め)

#### (1) サービスアップ調査結果の活用

接客の専門家である部外調査員が、お客様目線で調査した接客レベルの評価値を到達レベル確認のための有効な指標として活用し、指摘事項についての継続的な改善を行うことで、臨機応変サービスレベル（標準点達成率100%以上 & 全項目平均4.0点以上）の達成に向けてレベルアップを図ります。

### <相対的に評価の低かった今後の改善項目>

駅	挨拶	出札口での笑顔の伴った挨拶
	環境	トイレ床面が水浸しのままの駅がある。点字案内版表面の掃除が不十分
ワープ支店	身だしなみ	髪型や爪の手入れが、規定外の係員が見られる。
	接客対応	店舗内が混み合うと気遣いの言葉が減り、事務的になる。
ワーププラザ	挨拶	接客中や事務処理中、挨拶がおろそかになる係員がいる。
	接客対応	椅子への誘導が遅く、立ったまま対応する店舗がある。
	環境	空棚や期限切れのパンフレットが放置されている店舗がある。
列車乗務員	接客対応	接客中、なれなれしい言葉で通り過ぎる車掌がいる。
	車内巡回	声掛けがなく、足早に通り過ぎる車掌がいる。
	車内環境	空調・室温等が適切でない場合がある。

- (2) おもてなしマインドの醸成
- (3) お客様の声の活用とほめる文化の定着化
- (4) 接遇に係わる研修・訓練等の実施
- (5) 外国人旅行者への環境整備とおもてなしの向上
- (6) 障害のあるお客様への対応能力の向上
- (7) マナー向上や迷惑行為防止等、お客様との連携

### 3 輸送障害発生時等の対応能力の強化

第一報で得た状況報告をもとに、わかる範囲で迅速に情報提供を行い、状況変化に応じ更新情報を小刻みに追加・提供することを基本とし、災害現場の写真を掲出するなどして、災害規模の大きさが直感的に理解できるようお客様の立場に立った情報提供に努めます。さらに、列車が長時間抑止となった場合のお客様対応能力の向上に努めます。

### 4 CS向上のためのデザイン展開

JR四国オリジナルの地元に密着したデザイン展開を行い、お客様に親しまれ、地域に愛されるJR四国の企業イメージ醸成を図るとともに、四国DCにあわせた新観光列車等のデザイン設計等に取り組みます。

- (1) 新観光列車及び関連グッズ等のデザイン提案
- (2) キャラクターの展開
  - 「笑顔」「おもてなしの心」を具現化したサービスイメージの定着化
  - 四国DCに向けた着ぐるみキャラクターの作成等
- (3) きめ細やかな広報物、ノベルティーの作成



昨年7月、JR四国で働く皆さんを対象として、コンプライアンスに関するアンケート調査を行いました。いただいた色々なご意見は、今年度の取り組みにしっかりと反映していきます。

さて、そのアンケートの中で、SNSの利用状況についてお聞きしました。

集計の結果、利用者の割合は会社全体では5割半ばとなりました。年齢別では、若い層ほど利用者の割合が増え、特に30歳未満ではその割合が9割を超えています。

利用者に対しJR四国社員としての自覚を持って利用できているかお聞きしたところ、ほとんどの方からできているとの回答をいただきました。

喜ばしい結果と言えますが、SNSは、その手軽さ、便利さ故に、つい慎重さを欠いてしまいがちなものです。

SNSに関する問題事例の一部を列挙しますので、自覚を持っている方も、改めて自身が当事者になってしまわないよう注意してください。

- 1 プレス前の情報、業務上知り得た秘密情報等の公開
- 2 お客様の個人情報の漏洩
- 3 お客様や仕事、同僚等への不満、愚痴の投稿
- 4 お客様からの信用を損なうような内容（安全を軽視した発言等）の投稿
- 5 列車乗務中や作業中等の業務時間中の使用
- 6 他人の権利を侵害する内容（写真の無断掲載等）の投稿

不適切な投稿は当然ながら、本人にとっては普通の投稿が、第三者の目を通すと批判に晒される（＝炎上する）ことも珍しくありません。

また、JR四国に所属していることを明らかにしていなくても、投稿した情報や過去の投稿内容から、発信源が誰なのか特定され、結果として会社全体のイメージダウンにつながる可能性があります。

SNSを利用しないで！とは言いません。ただ、その手軽さ、便利さは常に危険と隣り合わせであることをしっかりと認識するようにしてください。

## 勤務福利

## 確定拠出年金「ユーザーID・暗証番号」を失くしていませんか？

確定拠出年金は、みなさん自身がつくる年金です。  
定期的に、確定拠出年金の資産残高を確認していますか？  
ユーザーID・暗証番号は、お手元にありますか？

**ユーザーID・暗証番号の再発行手続きを行いましょ。**

確定拠出年金は長期投資が前提ですが、定期的に運用状況を確認し、運用の計画・方法を見直すことも重要です。ユーザーID・暗証番号を失くしている方は、この機会に再発行手続きを行い、確定拠出年金の専用サイトを活用して「運用」についてもしっかり考えてみましょう。

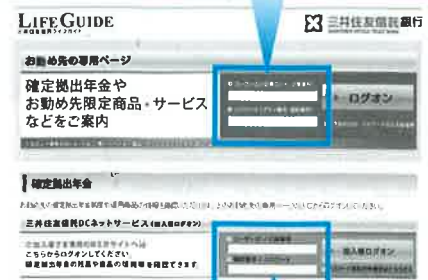
### 《加入者ユーザーID・暗証番号の再発行手続きについて》

#### ◆手続き方法について

- ① WEB画面での再発行  
「三井住友信託ライフガイド」(<https://lifeguide.smtb.jp/>)
- ② 会社経由での再発行  
総務部勤労課（2057）に連絡
- ③ 三井住友信託銀行の「三井住友信託確定拠出年金コールサービス」経由での再発行  
「残高のお知らせ」をお手元にご用意のうえ、電話して下さい。  
(0120-996-401)

#### 【プラン番号・企業コード】

- JR四国専用画面へのログインに必要です。制度概要、商品内容等を確認しましょう。  
ユーザーID：20010043  
パスワード：002004



#### 【加入者ユーザーID・暗証番号】

- 加入者専用画面へのログインに必要です。資産残高、運用状況を確認しましょう。
- 加入時に配布した「加入登録のお知らせ」又は「ユーザーIDのお知らせ」ハガキに記載されています。

## 人権啓発室

## セクシュアルハラスメント

昨年12月22日、福岡地裁で注目の判決が出されました。会社の新社員歓迎会の2次会で「男性社員からセクハラを受けた」として、派遣社員だった女性が自動車販売会社と男性社員に損害賠償を求めた訴訟の判決で、「2次会は業務の延長だった」との判断を示し、男性社員だけでなく、会社の賠償責任も認定、慰謝料等を支払うよう命じたというものです。

これまでも勤務時間外、職場外の酒席でのセクハラ行為について、職場の歓送迎会等1次会については会社にも責任があるとの認識が一般的で、2次会以降についてはどう

なのかという疑問がありましたが、今回明確な判断が示されました。言い換えると、職務と密接な関連のある酒席に関しては使用者の管理責任を問われるということになります。

4月は新社員歓迎会等、飲酒の機会が多くなる時期です。「アルコールハラスメント」という言葉もあります。飲酒の強要や一気飲み、酔っ払った迷惑行為等に気をつけ、飲めない人へも十分配慮して新しい仲間を迎えたいものです。

## 南予キャラクター列車「おさんぼなんよ」出発式を開催

2月21日（日）、松山駅にて南予キャラクター列車「おさんぼなんよ」の出発式が開催されました。

初めに、「えひめいやしの南予博2016」および「四国DCC」等を契機として、愛媛県と当社が今後も鉄道を通じた観光振興に一層連携・協力することを目的とした協定を締結しました。そして、主催者を代表して泉社長が「南予博や愛媛国体、四国DCC等が開催され、愛媛さらには四国へ多くのお客様にお越しいただく良いチャンスです。観光が盛んになるよう頑張ってください」と挨拶しました。

続いて、この取り組みの一つである南予キャラクター列車の愛称名を「おさんぼなんよ」と発表し、地元慶応幼稚園園児たちが「線路は続くよどこまでも」を合唱してお祝いし

ました。

最後に、関係者によるテープカットを行い、9時46分、松山駅長の出発合図で「おさんぼなんよ」が宇和島駅に向けて出発しました。



## 「台湾鐵路管理局との友好鉄道協定並びに両松山駅間の友好駅協定調印式」を実施

2月25日（木）、松山駅にて「台湾鐵路管理局との友好鉄道協定並びに両松山駅間の友好駅協定調印式」を実施しました。

JR松山駅と台湾鐵路管理局松山駅は、平成25年10月から友好駅協定を締結し、両駅間で連携しながらイベント等への相互参加、誘客プロモーション等を進めてきました。今回は、この友好駅協定が平成28年3月31日で期限を迎えるため、両駅間の協定を再締結すると共に、より強固な友好関係を築くため、新たに台湾鐵路管理局と当社との間に友好鉄道協定を締結しました。

調印式では、泉社長や台湾鐵路管理局の周（しゅう）局長、両松山駅長が相互に協定書に署名を行い、協定の締結を行いました。

調印後、泉社長は、「この協定を機

に、両松山駅間のますますの相互送客や、当社と台湾鐵路管理局間の鉄道技術の交流等を深め、台湾と四国、そして両社がより一層発展することを期待しています」と挨拶されました。



## 「JR四国・JR西日本合同訓練」を開催

3月4日（金）、本四備讃線 児島駅～宇多津駅間にて「JR四国・JR西日本合同訓練」を開催し、当社をはじめ、JR西日本岡山支社、中国・四国運輸局から計約170名が参加しました。

訓練は2部構成で、第1部では、「児島駅～宇多津駅間を走行中の列車から白煙を認め、神道山トンネル内に停車した」という想定で、お客様役の社員等をトンネル外に避難誘導しました。また、第2部では、「列車が故障によりトンネル内に停車し、救援を要請した」という想定で伝令法を施行、児島駅より救援列車を運

転し、連結後に同駅へ収容しました。

訓練後、半井鉄道事業本部長が「瀬戸大橋線は、当社の最重要線区です。万が一の際には会社間を超えて円滑な運転取扱いを行わなければ

なりません。また、今後も両社間で力を合わせ、お客様の安全を確保していきたいと考えています」と講評され、この日の訓練を終了しました。









# 通信員 だ・よ・り

## 本社提案活動表彰式

高松機械建築区 森 雅司 通信員

1月13日、高松機械建築区の機械管理と事務が合同で考案し、本社へ上申していた提案内容が優秀賞となり、高須賀人事課長より表彰状を授与されました。

提案内容は、「駅ホームに設置されているエスカレータ雨対策による経費の削減」です。荒天時、エスカレータのホーム側が横なぐりの雨に見舞われると、

手摺りベルトに悪影響を及ぼし、これらの修繕のためには多額の費用が掛ることに着目、ベルトおよびステップに簡単に取り付けできるカバーを考案・作製しました。

今後は、さらに内容を改善し、他のエスカレータ設置駅にも普及させていきます。



## 小学生が運転所を見学

徳島運転所 高松 弘明 通信員

1月18日、徳島運転所の目の前にある内町小学校の2年生37名が所内の見学を行いました。

初めに、所長から運転所の概要説明を受け、その後3班に分かれて検修作業の見学、運転シミュレーター、転車台、車内放送の体験を行いました。児童達は、普段見ることのない運転所内の見学とあって、各社員から

の説明を真剣な眼差しで聞き、たくさんの質問をしていました。特に、運転シミュレーターの体験時には「すごいなあ！ゲームみたい」との声があがっていました。

後日、児童達から「楽しかったです。ありがとうございました」と、たくさんのお礼の返事を頂きました。



## 車両故障防止100点達成

多度津工場 大北 元広 通信員

1月22日、多度津工場が車両故障防止100点を達成し、田中運輸部長から表彰状を授与されました。この制度は、工場の場合、車両故障が無ければ1日あたり0.36点が加算され、逆に工場の責任による車両故障が起これば減点されるものです。今回は、平成26年6月7日～平成27年10月9日までの16ヶ月で100点

を達成しました。

表彰後、田中部長より「これは、日々の積み重ねの結果であるので、今後も故障防止に努めてください」と激励のお言葉を頂きました。

なお、100点達成は、四国鉄道機械㈱の協力なしでは達成出来ないことですので、同社には感謝状が贈られました。



## 安全祈願ツアーを実施

松山保線区 白江 雄介 通信員

1月23日、松山保線区は、毎年恒例のアイランドエクスプレス四国Ⅱを利用した金刀比羅宮安全祈願ツアーを実施しました。今回は、協力会社社員等を含む計61名の大所帯で松山駅を8時前に出発し、21時の帰着という約13時間の濃い旅となりました。

目的地である琴平では、短い滞在時間ではありましたが、温泉、街中散策、今年の安全を祈願すべく1,368段の奥社への参拝（私を含め、概ね本社にて断念……）等、皆思い思いの時間を過ごしました。

また、ホテルの宴会会場ではおいしい食事と冷たい飲み物を頂き、さらに行き帰りの車内でも飲む、翌日

声が出なくなるほど歌う等、にぎやかに過ごし、協力会社の皆さんとの懇親も深まりました。





## 広報通信員の紹介

徳島駅 鎌田 忍 通信員



昨年6月に徳島駅へ配属となり、広報通信員に指定されました。  
職場のホットな話題をはじめ、徳島駅でのイベントや地域の皆様と連携した活動など、多くの情報を発信できるよう取り組んでいきたいと思っております。

## 増収ツアー「かに三昧と世界の名所巡り」を実施 松山電気工事所 前田 典男 通信員

1月29日～30日の2日間、松山電気工事所では恒例の増収ツアー「かに三昧と世界の名所巡り」を実施しました。

初日はあいにくの雨模様で、姫路太陽公園内での「世界の名所巡り」は出来ませんでした。白鳥城（中世ヨーロッパの古城）内を見学し、トリックアートの世界に魅了されました。また、宿泊地で

の宴会では、昼間のトリックとは違い、本物の「かに料理」に舌鼓を打ち、皆会話を忘れて黙々とかにを堪能しました。

翌日は、海産物市場で土産物を買ひ、神戸市の「灘の酒蔵」も見学した他、帰路の車中では、賞品の「松葉がに」を目指してビンゴゲームを行い、和気藹々と道中を楽しみました。



## 第11回八幡浜駅伝カーニバルへ参加

八幡浜駅 佐賀 安一 通信員

1月31日、「第11回八幡浜駅伝カーニバル」が開催され、「八幡浜駅」チームは、一般の部50チーム内の1チームとして出場しました。開催直前には、体調不良や急遽の不参加の申し出等があり、一時は出場が危ぶまれましたが、中心的な社員の熱意と、宇和島駅社員の協力により無事出場することができました。

私たちの記録は、最速の社員の平均時速が12.8km、マイペースの社員の平均時速が10.6kmでした。全員が時速10km以上のスピードで走り抜きましたが、順位は39位と振るわず、残念な気持ちもありましたが、沿道からの心のこもった温かい応援を追い風に全員が完走できたことに満足しています。



## 丸亀うちわの「うちわびな」を展示

丸亀駅 大浦 広志 通信員

2月19日、丸亀駅にて地元の子供達が地域特産の丸亀うちわで作った「うちわびな」の展示を行い、愛らしい姿がお客様に春の訪れを告げました。この行事は、市観光協会が行っている「丸亀歳時記」のイベントの一つで、2008年から毎年実施しています。

この日は、岡田保育所の5歳児18名がお内裏さまとおひなさまを

2体ずつ作成。思い思いに顔を描き、衣装は不織布や色鮮やかな千代紙等をうちわに貼り付けて仕上げました。また、飾り付けも園児達が自ら行い、青竹を使ったひな壇に挿していきました。

そして、完成後には全員で元気一杯に「うれしいひなまつり」を合唱しました。



## 駅・運転所合同訓練を実施

徳島駅 鎌田 忍 通信員  
徳島運転所 高松 弘明 通信員

2月5日、徳島駅と徳島運転所が合同で異常時訓練会を実施しました。今回は、異常時における関係者同士のやり取りにおいて、正確な情報収集ができるかを確認することを目的とした確認会話の訓練を行い、指令業務を担当する運輸部輸送課社員を含め総勢30名が参加しました。訓練では、停車駅通過および踏切

での人身事故発生時を想定し、運転所の運転シミュレーターを使用しました。そして、当該乗務員が別室で待機する指令・運表又は当直担当者との無線等により状況を連絡する中で、正確且つ的確に情報を伝えられるかに焦点をおき、本番さながらの訓練に取り組みました。





# 出向者だより

東日本旅客鉄道株式会社  
東京支社事業部開発課

小野 順司



平成27年10月よりJR東日本に出向し、東京支社の事業部開発課に所属しています。開発という仕事は、駅やその地域の特徴、お客様のニーズなどを踏まえ、駅空間をどのように利活用するかを考え計画し、関係者との調整や、行政・地元等との協議を行いながらそのプロジェクトを推進していくというものです。東京支社は、社員数をはじめ、管轄する駅の利用者数や鉄道と事業それぞれの売上など、様々な分野でJR東日

本の大半を占める大組織であり、その中で各種調整や業務の進め方に難しさを感じる一方で、ビジネスや観光、生活の拠点であり、多くのお客様が集まる駅のポテンシャルの高さを日々感じながら業務に取り組んでいます。

現在の主な業務は、駅構内での店舗開発における調査や計画、グループ会社等の店舗開発の支援です。山手線新宿駅、目白駅、中央線高円寺駅、常磐線北柏駅等を担当していますが、スピーディーで即効性のある開発を駅の特徴やお客様のニーズを勘案しながら推進していきます。順調に進むと、5月から7月にかけて私の担当している案件が順次開業する予定です。自分の考えたものが形となってお客様に利用していただけることを楽しみに感じる一方で、より気を引き締めて開業までのスケジュールを管理していかなければならないと思っています。

また、私の所属する開発課には東京駅や新宿駅といったターミナル駅での大規模な開発や街づくり、沿線価値向上の取り組み、駅ビルやホテル、オフィス等生活サービス事業物件等の保守管理、設備投資にかかる

予算管理など様々な業務が存在します。こういった環境での毎日は本当に刺激的ですし、一つでも多くのことを吸収し、今後の業務に役立てたいと感じています。

休日にはそんな駅を中心とした街歩きに出かけています。私は学生時代の4年間を東京で過ごしたためである程度の土地勘はあったのですが、それでも降りたことのない駅や行ったことのない商業スポットを歩いてみると、この街は時代に合わせて日々進化しているということを感じます。また、同じ事業部内で趣味である野球好きメンバーが集まる飲み会はもはや定例となっていますし、とにかく四国出身ということで本当に多くの方々に声をかけていただき、お誘いをいただくこともとてもありがたく感じています（最近分かったことですが、JR東日本が管轄する地域以外からの出向者は現在私だけのようなのです）。

限られた出向期間ですので、日々の業務から学ぶことはもちろん、幅広い視点で様々なことにチャレンジすることや人との出逢い、つながりを大切に、成長できるよう精進していきたいと思っています。

## 本社だより

### 地域連携室

- 「鉄道ホビートレイン」と南予キャラクター列車「おさんぼなんよ」が連結運転します。  
4月10日（日）江川崎駅～宇和島駅間

### 総務部

- 平成28年度新入社員入社式を開催します。  
4月1日（金）10時～ 本社8階会議室
- 平成28年度総合各長会議を開催します。  
4月4日（月）13時～ 本社8階会議室

### 安全推進室

- 「春の全国交通安全運動」の実施（4月6日～15日）に伴い、各地区の踏切等で「踏切安全通行PR」を実施します。

### お客様サービス推進室

- ゴールデンウィーク多客期に向けた重点サービスチェックを実施します。  
4月4日（月）～4月22日（金）まで

### 営業部

- 組織改正により、「千年ものがたり企画室」を設置します。  
4月1日（金）～
- 第32回「四国ごんぴら歌舞伎大芝居」が上演されます。  
4月9日（土）～4月24日（日）まで  
琴平町「旧金毘羅大芝居・金丸座」





# Monthly Focus

## 「予讃線8000系アンパンマン列車」と「8600系」の一般展示会を実施

3月26日(土)のダイヤ改正からの導入を前に、「予讃線8000系アンパンマン列車」と「8600系特急電車(しおかぜ)」の一般展示会が行われました。展示会場となった各駅には、大勢の親子連れや鉄道ファンが訪れ、大変賑わいました。

予讃線8000系  
アンパンマン  
列車



3月5日(土)  
岡山駅  
来場者数  
500名(限定)

予讃線8000系  
アンパンマン  
列車



3月6日(日)  
高松駅  
来場者数  
約1,000名

予讃線8000系  
アンパンマン  
列車



3月12日(土)  
松山駅  
来場者数  
約1,800名

8600系  
特急電車



3月12日(土)  
岡山駅  
来場者数  
約300名



秋山智季さん  
(高松運輸所)



私の宝物は、平成6年12月3日のダイヤ改正から現在の「みの駅」になった、「高瀬大坊駅」の駅名標です。駅名が変わったのは私が高校生の時で、慣れ親しんだ駅名が変わるのが切なかった思い出があります。2枚持っていましたが、内1枚を三豊市に寄贈し、三豊市文書館で展示されたこともあります。

「高瀬大坊駅」は、予讃線が見える母の実家にほど近く、小さい頃から列車を見て育った私の鉄道好きの原点です。「みの駅」は、私にとっては今も「高瀬大坊駅」です。

皆さんからの投稿をお待ちしています。 ※掲載された方には記念品を差し上げます。 投稿先(メール) ▶ kouhou@jr-shikoku.co.jp 件名:「宝物」

## しおかぜ QUIZ

- Q1 本年2月、当社と友好鉄道協定を締結したのはどこ？
- Q2 「予讃線8000系アンパンマン列車」展示会の松山駅での来場者数は？

- 前号の正解● Q1: 海洋堂ホビートレイン「かっぱうようよ号」  
Q2: 長時間労働の抑制 または 年次有給休暇の取得促進

### 【あて先】

はがき ▶ 〒760-8580 JR四国広報室「しおかぜクイズ」係宛  
メール ▶ kouhou@jr-shikoku.co.jp  
件名は「しおかぜクイズ応募」とします。

### 【応募要領】 締切 ▶ 平成28年4月7日

両方のクイズの答え・郵便番号・住所・氏名(ご家族の方は社員名・続柄)・電話番号・所属(出向先)を必ずご記入のうえ、ご応募下さい。正解者の中から抽選で5人の方に写真の賞品をお贈りします。

### 【前回の当選者】 応募総数は37件でした。

- 山地 僚子(事業開発部)
- 池田 健(宇和島運輸区)
- 田塾 博之(松山運輸所)
- 山中 聖也(高知保線区)
- 松下 陽尊(徳島運輸所)

\* 順不同・敬称略。ご家族が当選の場合も、社員等の名前を記載しています。

QRコード  
携帯・スマホは  
こちらから →



## Present

はごろも  
フルーツ缶詰  
バラエティギフト

パイナップル3個、みかん2個、白桃2個、黄桃2個の缶詰が入った、フルーツ缶詰め合わせです。





# 今日の笑顔



財務部財務課 高木 雄也  
平成26年度入社(香川県高松市出身)

## Q▶現在の仕事内容は?

A▶駅やワープ、本社等での日々の入出金を管理する出納業務を担当しています。

## Q▶将来の夢は?

A▶まずは、財務課においてミスなく眼前の業務を行うことが日々の課題です。様々な業務が目に見えないところで連携しており、自分一人のミスで数多くの業務が滞ることにもなります。日々の経験から知識を得、より効率的な作業や効果的な提案が行えるように能力を高め、部内ひいてはJR四国の発展に貢献できるような社員になりたいと思っています。

## Q▶仕事のやりがいは?

A▶入出金は絶え間なく行われています。どれだけの金銭が動いて、それがどういった用途のものを明確にすることは、日々の預金額を的確に把握するだけでなく、後々の予算の検討材料となります。現金は会社の血液のようなものです。その勘定に誤りがあると効果的な資金繰りができなくなり、会社全体の業務に不具合が出てしまいます。「出納」は、各業務、各箇所に適切な資金を分配するための基礎資料作成業務として、日々の積み重ねが特に重要視されるものであると考えています。その責任の大きさがやりがいの裏返しとなっています。



事業開発部 和氣 佳紀  
平成25年度入社(岡山県岡山市出身)

## Q▶現在の仕事内容は?

A▶社宅跡地等の用地活用及び、マンションの計画業務を担当しています。

## Q▶将来の夢は?

A▶一級建築士を取得し、自宅を設計したいです。もちろん、仕事をする上で自信をつけるためにも必要な資格です。マンション計画においても、床面積を最大化させる計画手法や、住みやすい間取りの設計技術等を習得するため、現在勉強中です。

## Q▶休日の過ごし方や趣味等は?

A▶学生時代は、部活動やアルバイト、研究等で何かと忙しく、あまり遠方へ旅行していなかったため、社会人になり、まとまった休みが取れば、今まで行っていない場所を旅行しています。

最近では、1月に仙台に住む友人宅を訪れ、昨年全線復旧した石巻線の、「ゆぼっぽ」という温泉施設と合築された女川駅等を見に行きました。また、3月には台湾を旅行しました。



# 健康ア・ラ・カルト

Health à la carte

## 春の散歩を楽しもう

春は新しい生活をスタートさせる季節。環境が変わったり、新しい仲間と出会ったり、刺激半分、憂うつ半分の季節です。知らず知らずのうちに疲れやストレスがたまっているかもしれません。春の散歩は、そんな心の疲れを吹き飛ばすのに最高の健康法。暖かい日差しに包まれながら、春の散歩を楽しみましょう!

### ●散歩にはこんな効果が

からだ全体の3分の2の筋肉を占めるのが下半身です。歩いて足を使うことで、筋肉や骨などの強化はもとより、からだ全体の活性化につながります。

#### ●ストレス解消

屋外を歩くことで気分的なリフレッシュ効果を得られるとともに、自律神経系のバランスが整います。

#### ●老化防止

足の筋肉が活発に動くことで脳が刺激され、脳細胞が活性化し、脳の老化を防ぐことができます。

#### ●肥満防止

歩くことにより、多くの酸素が体内に取り入れられ、効率よく体脂肪を燃焼させることができます。

### ●楽しく安全に体を動かすために

長時間散歩をするような場合には、体調や天候状況を考慮して歩くようにしましょう。

#### ●健康状態をチェックしましょう

散歩を始める前の、体調チェックは大切です。「体がだるく感じられないか」「熱っぽくないか」「少し動くと息切れがしないか」「めまいはしないか」「腰やひざは痛くないか」「睡眠時間」「食欲」などについて、いつも通りかの確認をしておきましょう。

#### ●歩きやすいシューズを

靴ずれをおこしやすい靴、歩くとすぐに足が痛くなる靴では歩くのが嫌になってしまいます。長い時間履き続けても疲れにくい、トラブルのおこりにくい靴を選ぶ必要があります。

#### ●水分補給はこまめに

水分補給はしっかりと行ってください。のどが渇いたな、と感じる前に、こまめな水分補給が大切です。長い距離を歩くような場合には必ずウォーターボトルを持参しましょう。

## 編集部雑感

今年も「アンパンマン列車スタンプラリー」が始まりました。

去年は長男を連れて「瀬戸大橋アンパンマントロッコ」に乗車しました。今年は、昨年産まれた次男も連れて「ゆうゆうアンパンマンカー」にも乗ろうと思っています。その前に「神戸アンパンマンミュージアム」に行つて……、計画を立てるだけでもワクワクします!

(紺)







### ズームアップ 鉄道沿線の風景

#### ～アンパンマン列車で行こう四国の旅～



平成28年3月26日(土)、アンパンマン列車では初めての特急形電車である「予讃線8000系アンパンマン列車」が岡山駅・高松駅～松山駅間で運行開始しました。

外装・内装ともにデザインコンセプトである「虹の架け橋」を取り入れ、外装には各車両毎に四国の賑わいを盛り上げるキャラクターや、四国の風土に親和性の高いキャラクターが描かれています。1号車の「アンパンマンシート」(普通車指定席、16席限定)には、座席に描かれているキャラクターとの記念撮影ができるほか、座席テーブルを開けるとミニ運転台(2席に1席)が現れ、運転士気分を楽しむこともできます。

この春は新しいアンパンマン列車で、楽しい四国の旅へ出かけませんか。



発行:四国旅客鉄道株式会社広報室  
〒760-8580 高松市浜ノ町8番33号 Tel.087-825-1626

撮影地:JR四国多度津工場

列車の発着時刻、運賃・料金、鉄道企画商品に関するお問い合わせ **しこくに** 受付時間(年中無休)  
**JR四国電話 ☎0570-00-4592** 8:00~20:00  
案内センター (お客様が使いの電話回線の種類によってはご利用いただけない場合があります。) 通話料がかかります。

電話で列車の指定席が予約できるサービス **しこくに** 受付時間(年中無休)  
**☎0088-24-5489 ☎078-341-7903** 8:00~22:00  
(通話料無料(携帯電話含む)) [有料(ひかり電話)からはこちらをご利用ください]

### インフォメーション

## 車両に「列車用避難シューター」を積み込みます!

近い将来に発生すると予測されている南海トラフ地震においては、徳島県・高知県沿岸部にわずかな時分で津波が到達することが予想されています。「列車用避難シューター」は大地震、津波発生時に、列車内から車外へ速やかに避難するための一つの道具として考案したもので、今回の「列車用避難シューター」を量産し、車両に積み込みます。

#### 列車用避難シューターについて

- 考案者** JR四国高知運輸所社員のグループが、迅速に列車内から車外へ避難するための一つの道具として考案し、試作品の製作を行いました。※平成27年11月に行われた日本鉄道運輸協会の連年業務研究発表会において「国土交通省鉄道局長賞」を受賞しました。
- 特徴** 車両の貫通部分に乗務員が速やかに設置できる構造とし、お年寄りなど、梯子等を使用して避難することが困難なお客様に安全、迅速に列車内から車外へ避難していただくことが可能になります。
- 対象車両及び時期** 土讃線の高知駅から窪川駅間、及び牟岐線をワンマン列車として運転する車両を対象とし、平成28年4月中の配備を予定しています。





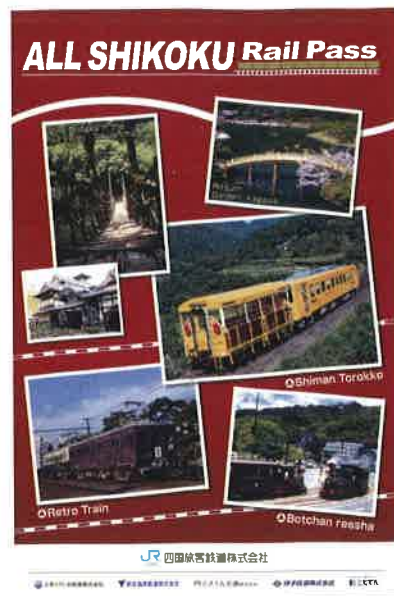
# JR四国のインバウンドの取り組み

「2020年に訪日外国人旅行者数を2000万人に」という政府目標を掲げて、官民が一体となって外国人観光客の誘致に取り組んでいます。2015年には訪日外国人旅行者数1974万人、消費額で3.4兆円と伸び率は過去最高を更新し続けています。

四国地域においてもシェアは小さいながらもインバウンドの恩恵は例外ではなく、四国を訪れる外国人旅行者数は、確実にかつ急速に伸びています。また、今年は瀬戸内国際芸術祭が開催され、それにあわせて3月21日から台湾・高松便が週6往復となる等、伸びる要素はまだあります。

そのような中で、JR四国では、平成24年4月にJR四国の路線だけでなく、四国内の私鉄（土佐くろしお鉄道、阿佐海岸鉄道、伊予鉄道、琴平電気鉄道、とさでん交通）も乗り放題となる『ALL SHIKOKU Rail Pass』を外国人観光客向けに発売しました。見せるだけで四国中の鉄道が乗り降り自由という分りやすさが好評で、販売枚数は初年度1290枚でしたが、4年目の平成27年度は、その7倍を越える年間1万枚近い売上となる見込みであり、外国人旅行者にいかん四国に来ていただき、いかに鉄道を利用していただくかが重要となってきています。

JR四国の営業部誘客戦略室内には、海外誘客（インバウンド）の担当者を置き、四国の魅力に関係機関や関係自治体と一緒に世界に発信するとともに、外国人旅行者に四国の鉄道を利用してもらえるようその魅力や利便性を海外でPRしています。



ALL SHIKOKU Rail Pass

## 宣伝活動

台湾、香港、タイ等、各地で行われる旅行博に参加し、四国の観光地や四国の鉄道、ALL SHIKOKU Rail PassをPRしています。毎年11月に開催される台北国際旅行博は、4日間で34万人の来場者数があり、台湾からの誘致に大きな成果をあげています。

## 現地旅行会社、航空会社へのセールス活動

月に1回以上は東アジアや東南アジアの旅行会社や航空会社等を訪問し、ALL SHIKOKU Rail Passの販売促進を図るほか、四国の観光情報や観光列車等のタイムリーな情報を提供し、四国への誘客を行っています。また、四国運輸局等と連携し、海外旅行会社や海外メディアの方に実際に鉄道による四国周遊を体験していただき、母国で旅行商品を造成してもらったり、各種メディアで旅行体験を発信してもらう「ファミトリップ」も毎年、企画・実施しています。

## インターネットを使った情報発信やお客様の利便の向上

パンフレットだけでなく、ホームページやSNSによる情報発信が重要であるため、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語でのホームページを整備し、情報発信を行っています。

また、外国人旅行者の利用の多い駅やワープ支店にタブレット端末や多言語通訳サービスを取り入れ、日本語の話せない方でも安心してご旅行いただけるようにソフト面でのサービスも整備しています。



タブレット端末を使用している案内



台湾旅行博での四国ブースの様子

バンコクFITフェアの様子



海外旅行会社・メディアを対象とした「ファミトリップ」の様子

ALL SHIKOKU Rail Passのホームページ

## 台湾の鉄道との交流

平成25年に台湾鐵路管理局の松山（ソンシャン）駅と当社の松山駅とが同名駅という縁もあり、友好駅協定を締結し、イベントへの相互参加や共同での誘客プロモーション等を実施してきました。今年2月には台湾鐵路管理局の周局長をお招きし、更に友好を深めるため、台湾鐵路管理局と当社との間で友好鉄道協定を締結しました。



台湾鐵路管理局との友好鉄道協定



INFORMATION

# 土讃線新観光列車の名前とデザインが決定!

JR四国では、平成29年春から土讃線の多度津・琴平～大歩危間に新たな観光列車を運行いたしますが、このたび運行開始日、名称、車両のデザインなどが決定しました。



SHIKOKU MANNAKA  
SENNEN MONOGATARI  
四国まんなか千年ものがたり

- ◆運行について 運行開始日/平成29年4月1日(土)
- ◆運行区間と運行日  
土讃線、多度津・琴平～大歩危間(列車は多度津～大歩危間を運転しますが、主なサービスは琴平～大歩危間です)を土日、祝日に1日1往復(年間120日程度)。

◆列車名 四国まんなか千年ものがたり

◆列車愛称

上り、下り列車毎にそれぞれの目的地をイメージした愛称をつけました。

- 【下り(多度津・琴平→大歩危) 午前運転】 そらの郷紀行
- 【上り(大歩危→琴平・多度津) 午後運転】 しあわせの郷紀行

◆車両デザインについて

使用車両/185系特急形気動車 3両  
外観デザイン/春夏秋冬、1年の四季の移ろいを車両毎の色どりで表現しました。

◆インテリアイメージ

- 重ねた時の深遠を映す褐色木材の凛とした室内空間
- 外観デザインにあわせた色どりのソファ椅子
- 反対側の車窓も楽しめる座席の配列



インテリアイメージ



大歩危側先頭イメージ



3号車 秋彩「あきみのり」の章 2号車 夏清「なつおがし」の章 1号車 春朝「はるあかり」の章



多度津側先頭イメージ



1号車 春朝「はるあかり」の章 2号車 冬清「ふゆおがし」の章 3号車 秋彩「あきみのり」の章

※画像はイメージです。

牟岐線  
(徳島駅～桑野駅間)  
開通80周年記念

## 沿線探検スロー列車「カモン牟岐線☆えーもんあるでないで号」を運転

昭和11年(1936年)3月27日に牟岐線(羽ノ浦駅～桑野駅間)が開通し、徳島県の県庁所在地の徳島市(徳島駅)と阿南市(桑野駅)間が開通して本年で80周年を迎えます。

そこで、沿線を中心とした関係団体等と地域連携により、第6弾で牟岐線初登場の沿線探検スロー列車「カモン牟岐線☆えーもんあるでないで号」を運行いたします。

### ①徳島駅(徳島市)

- 徳島駅長および徳島県のマスコット「すだちくん」、徳島市のイメージアップキャラクター「トクシイ」、ご当地キャラ「かわいーず」のお見送り



すだちくん

トクシイ

### ②南小松島駅(小松島市)

- ご当地キャラ「こまポン」のお出迎え&お見送り
- ボランティアガイドウォーク<約1.4km>(港町、小松島線跡、金長たぬき像など)
- 駅前マルシェ開催(練り物・フィッシュカツなど)



金長たぬき像

### ③羽ノ浦駅(阿南市)

- 地元小中学生のお出迎え
- 駅舎内マルシェ開催
- 語り部による羽ノ浦駅の歴史説明
- 歴史パネル展



羽ノ浦駅

### ④阿南駅(阿南市)

- 阿南市長および阿南駅長、チアリーディングチーム「ABO60」、ご当地キャラ「あななん」のお出迎えイベント
- 駅前「光のまちステーションプラザ」にて特産品等の物販
- 伝統芸能「三番叢(さんばそう)」披露

光のまちステーションプラザ



### ⑤由岐駅(美波町)

- 地元の方々およびご当地キャラ「えびー太」のお出迎え
- 漁港・町が一望できる津波避難高台見学ツアー(希望者のみ)<約0.5km、階段あり>
- 「ミニ伊勢えびまつり(特産品の販売)」開催



えびー太

### ⑥田井ノ浜駅(美波町)

- 夏季のみ開業する臨時駅に体験下車(ホーム上のみ) 目の前に広がる美しい砂浜と太平洋を見渡せます



田井ノ浜駅

### ⑦日和佐駅(美波町)

- ご当地キャラ「かめファミリー」のお出迎え
- ボランティアガイドによる観光案内(選択可)
  - ①薬王寺コース<約1.0km、急階段あり>
  - ②町並とウミガメコース<約3.2km>
- ※足に不安がある方には道の駅で足湯、ショッピングをゆっくり楽しむコースもございます。



日和佐駅

### ⑧牟岐駅(牟岐町・海陽町・阿佐海岸鉄道)

- 牟岐駅長およびご当地キャラ「ふるるん」のお出迎え&お見送り
- 牟岐町・海陽町共同マルシェ開催(地元特産品、海産物等)
- 牟岐町・海陽町・阿佐海岸鉄道の観光PR
- 「港町牟岐の豪商屋敷」見学ガイド付まち歩き<約0.9km>
- キルト作家「小栗さん」のキルト作品展示&説明会
- 阿佐鉄お楽しみ抽選会



いかカツバーガー(マルシェにて販売)

※写真はイメージです。

※ウォーク等の参加についてはツアー参加者のみとなります。

◆運行日/4月17日(日)、5月21日(土)◆

### 牟岐線の駅に記念のぼり旗・記念看板を掲出!

開通記念日の平成28年3月27日から6月末まで、牟岐線的全駅(臨時駅田井ノ浜駅を含みます)に記念のぼり旗を、また今回開通80周年を迎える羽ノ浦駅から桑野駅まで7駅舎等に記念看板を掲出し、地元の方々と一緒に祝いします。

**祝** 牟岐線(羽ノ浦駅～桑野駅間) 開通80周年記念  
阿南駅(阿波富岡駅) 開業80周年  
開通&開業日 昭和11年(1936年)3月27日

これまでも、これからも 地域とともに。JR四国

記念看板(イメージ)





■2016奥四万十博

平成28年4月10日(日)から平成28年12月25日(日)まで、高知県奥四万十地域(須崎市、中土佐町、四万十町、梶原町、津野町)において「2016奥四万十博」が開催されます。「2016奥四万十博」は、奥四万十地域の豊かな自然や文化を全国に情報発信し、良さを知ってもらい、訪れ、体験していただく、旅のキャンペーンです。山川海の豊かな自然を活かしたイベントやグルメ、体験プログラムが数多くあり、「2016奥四万十博」の期間中のみ実施されるキャンペーンや道の駅の特別メニューも登場します。

■奥四万十の山

●四国カルスト(高知県:梶原町、津野町 愛媛県:西予市、久万高原町、内子町)

青い空に緑の草原、あちらこちらに見える白い石灰岩とのコントラストがきれいな四国カルスト。大自然の開放的な絶景で、晴れた日には太平洋を望むこともできます。



●坂本龍馬脱藩の道ウォーキング(梶原町)

地元ガイドと一緒に、梶原町内に残る坂本龍馬ゆかりの地を巡ります。ご希望の方には、県境の葦ヶ峠を越える脱藩の道もご案内します。(1週間前までに要予約)

問・予約/ゆすはら観光交流案内所まろうと館

☎0889-65-1187

■奥四万十の川

●四万十川(中土佐町、梶原町、津野町、四万十町)  
日本最後の清流と言われる四万十川。欄干のない沈下橋があちらこちらに点在し、自然と調和した美しい景観が楽しめます。



●カヌー・ラフティング体験(四万十町)

水面近くを滑るように走るカヌーでは、川との一体感が楽しめます。ラフティングでは、水面が波立つ急流にある瀬を、息を合わせて突破します。(事前予約がおすすめ)

問・予約/四万十川・川遊び公園ふるさと交流センター

☎0880-28-5758

■奥四万十の海

●久礼大正町市場(中土佐町)

奥四万十の海で獲れた魚や干物、地元の旬な野菜などが並ぶ市場。午後になるとその日の朝獲れ・昼獲れの新鮮な魚が並びます。

●シーカヤック体験(須崎市)

奥四万十の大海原をこぎ進むシーカヤック体験。穏やかな海で大自然を満喫できるコースから、無人島やシークレットビーチを目指す本格的なロングコースまで、希望に合わせたコースを選べます。(3日前までに要予約)

問・予約/レモレモカヤックス ☎090-8103-3961



■ピックアップイベント(4月~5月)

●こいのぼりの川渡し(四万十町)

日時/4月17日(日)~5月21日(土)

場所/こいのぼり公園

問/四万十町十和地域振興局 ☎0880-28-5111

こいのぼりの川渡し発祥の地である十和。約500匹のこいのぼりが四万十川の上空を川幅いっぱい泳ぎます。

●かつお祭(中土佐町)

日時/5月15日(日)10:00~15:00

場所/久礼八幡宮前ふるさと海岸

問/中土佐町水産商工課 ☎0889-52-2473

鯉のタタキや鯉丼など、約2トンの鯉を豪快に平らげるイベントです。

●津野町ふれあい特産市(津野町)

日時/5月29日(日)10:00~15:00

場所/津野町西運動公園

問/津野町産業課 ☎0889-55-2021

新茶窯煎り体験や試飲、採れたて新鮮野菜の販売などがあります。



■お問い合わせ先  
2016奥四万十博推進協議会 ☎0889-59-5225



JR特急列車 + お食事 + α



JRで行く気軽な日帰り旅行として人気の「駅長推薦あじな散歩道」を好評発売中です。

- ご利用条件/1名様よりご利用できます。ご利用日の3日前12時までにお申込ください。
- 設定除外日/毎月第3木曜日(8月は第4木曜日)、4/23~5/8、8/6~8/17、12/27~1/4
- お食事場所/レストラン「彩」 11:30~14:00
- お子様:大人と別料理となります。
- モデルコースのみ、窪川駅より送迎があります。(要予約)
- 最寄り駅からの移動/窪川駅よりバスで約35分。
- 主な駅からのおねだん/(往復JR+食事+入浴(貸しタオル付))

主な駅	高松	松山
大人	11,200円	11,700円
小児	5,450円	5,700円
主な駅	徳島	高知
大人	11,200円	7,600円
小児	5,450円	3,650円

※左記以外の発駅設定もごさいます。



※季節・天候などにより一部内容が変更となる場合がございます。※写真はすべてイメージです。

詳しくは、専用パンフレット・JR四国ホームページ あじな散歩道 検索、をご覧ください。

お問い合わせ/JR四国 旅の予約センター ☎087-825-1662 (営業時間 平日10:00~18:00 土日祝 10:00~17:00)



JR四国は国土交通省が主体で全国のJRや私鉄各社が取り組む「鉄道でエコキャンペーン」に参加しています。

JR四国列車運行情報

http://www.jr-shikoku.co.jp/info/m/

